



「現場の声」で一番多い課題

ものづくり現場に人が来ない 来てもすぐに離れてしまう。

これが全国各地で皆様の「現場の声」をお聞きしている中で一番多い課題です。高い品質と信頼性で基幹産業として日本を支えてきた「ものづくり」。それを支える人材の確保は喫緊の課題であり、解決しなければ日本の未来に直結します。



人手不足の現状

有効求人倍率

全体平均: 約 **1.27** 倍

製造業: 約 **1.74** 倍

「一般職業紹介状況(令和5年12月分及び令和5年分)について」(厚生労働省)

上の数値は、仕事を探している人に対して、何件の求人があるのかを示す**有効求人倍率**です。全体平均と比べて、製造業は多くの求人があり、人手不足が生じていることがわかります。

ものづくり人材の動向

2002年→2022年の20年間で

就業者数: 約 **158万人**の減少

65歳以上の割合: **4.7%→8.7%**

「2023年度版ものづくり白書」(経済産業省)

ものづくり白書によると、製造業で働く人が大幅に減少していること、高齢化が進んでいることがわかります。

解決に向けた郡山りょうの政策

さらに詳しく→



ものづくりを目指す人を増やし、さらに定着する職場づくりを支えます！



ものづくりを目指す人を増やす



学校教育の中で、ものづくりの魅力に触れる機会を増やし、ものづくり産業を目指す人を増やします。



人材の確保に向けて、ものづくり企業が働きやすく魅力ある職場づくりに取り組めるよう様々な支援をします。

人が定着する職場づくり



みなさんが作る製品の価値や労働の価値が適正に評価される社会をすることで、賃金の向上を図ります。



短納期発注等の規制や、職場の暑さ、寒さなどの環境に関するルール作り・支援等を通じて、快適な職場を作ります。